

24. 子供達と一緒に本格的な凧作り

～伝承おもちゃ～

グループ名	SA ひらかた
代表者名	福武 勝彦
担当者	由比浜 亨

1. 活動の目的

私達 SA ひらかたは設立いらい五周年、活動を始めてから八年以上の実績を持つ団体です。

過去私達が活動してきた内容は、子供達を相手に手作りのおもちゃを一緒になって作ったり、又マジックを披露するなど小学校を利用させていただき定期的に枚方市内の数校で行なって来ました。

その他にも子供達相手には地域の集会所とか、小学校の授業の中でおもちゃ作りの指導なども行い、子供対象以外では老健などの施設訪問や地域に住んでいる外国人にお月見を兼ねた、だんご作りやひなまつりなど日本文化の紹介にと地域と密着した団体であると自負しております。

今回の活動、本格的な凧作りは今まで私達の活動は子供達だけを対象としたおもちゃ作りがメインだったのをお父さんやお母さん、出来ればおじいちゃんおばあちゃんとも一緒に作る事の楽しさを味わった欲しいと思い企画しました。

2. 活動の概要

凧作成までの活動

- * 伝承だこを作るという事は決めていたので和凧を作るのは決まっていたのですがどんな形にするかは業者と2回に渡る話し合いの結果、四角の凧に決めました。10/23
- * パンフレットを作成して近辺の小学校や市の施設に置いてもらう。(200部)
- * 12月の定例会で会員の近所の人に参加をしないか聞いてもらう。
- * 一週間ごとに参加人員のチェックをする。
- * 参加人員が30名を超えてところでストップする。
- * スタッフ10名、練習を兼ねて凧作り(3個作成)12/3
- * 凧揚げをしてみて揚げるためのチェックの手順書を書いたほうが良いのではとの意見があり出来るだけ分かりやすく記入しておく。
- * 当日やりやすくするため凧ヒゴにカッターを使いみぞを彫る作業をする。

3. 凧作り当日 12月26日

- * スタッフ 14名 参加者34名(内子供20名(女子5名) 大人14名)

合計 48名

- * スタッフは定刻1時間前にきて手順やりにくい所の再チェックする。
- * 参加予定者が定刻に揃ったので時間通りスタートした。
- * やりにくいと思っていた所であつまく ヒゴの重なる所での結びが出来ない
(出来るだけ子供達にやってもらつつもりでいたのが少し甘かつたか、..)
- * 絵をかいて貼り付ける事、尾をつけるなど完成までこぎつけた人は5名で、後は大切な糸目の中心とか凧の反りの入れ方などについては個々に詳しく説明した。
- * 凧を揚げるための注意点や手直し方法など説明すると共に、記入した書類を手渡した。
- * 凧を揚げる場所について全員に危険な場所など例に挙げ注意をうながした。



凧作り中の参加者の人達

4. 反省会 1/24

- * 12月の下旬でなく上旬にすればよかつたのではないか。
- * 時間通り出来なかつた。(完成できた人は5人のみ)
後日、未完成だつた方一人ひとりに上手く出来上がつたか、また凧はちゃんと揚がつたか電話などで連絡して、出来で居ない2人については地域の集会所まで来て頂いて揚がるようになるまで、指導した。
- * 子供達や大人の人達とも話し合いながら作つていつたので楽しかつたと言つてくれた人もいた。
- * 大人に対しても(成人) 一対一の必要だ。
- * 竹ヒゴの組み込みまで、やっておけば良かつたのでは など

5. 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	50,000-
支出	竹ひご 300円 35名	10,500-
	和紙(絵つき) 200円 35名	7,000-
	タコ糸 105円 35名	3,675-
	へら 50円 10個	500-
交通費	松井山手往復 500円 2人(2回)	4,000-
	会場費 ラポールひらかた大研修室	3,000-
	ボンド のり	1,783-
	ポリ袋	248-
	コピー代	2,200-
	マジックインキ	2,496-
当日	交通費 1,000円 14名	14,000
	写真代	1,157-
	反省会 コーヒー代 105円 14名	1,470-
	合計	52,029-